

授業概要

人間文化学科の学生がどの領域においても必要とするリベラル・アーツの基本的な分野を平易な英語で理解することによって、それぞれの専攻する分野で必要となる、さらに高いレベルの英語に進むための基礎的な力を養成する。英文の読解、リスニング、会話の学習を通して基本的な語彙や表現を理解して覚え、応用できるようにする。また、単に英語力を高めるだけではなく、英語を学びながら教養を深め、多様な分野に関心を持てるように指導する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	Unit 1 文字と言葉について英語で学ぶ (1) Pre-Study, A. 英文読解
第 3 回	Unit 1 文字と言葉について英語で学ぶ (2) B. 英会話, C. 語彙習得
第 4 回	Unit 1 文字と言葉について英語で学ぶ (3) D. 英文読解
第 5 回	Unit 3 英語の詩を読んでみよう (1) Pre-Study, A. 英文読解
第 6 回	Unit 3 英語の詩を読んでみよう (2) B. 英会話
第 7 回	Unit 3 英語の詩を読んでみよう (3) C. 詩の読解, D. 練習問題
第 8 回	まとめと復習
第 9 回	Unit 4 英語の物語を読んでみよう (1) Pre-Study, A. 英文読解
第 10 回	Unit 4 英語の物語を読んでみよう (2) B. 英会話, D. 練習問題
第 11 回	Unit 4 英語の物語を読んでみよう (3) C. リスニング&英文読解
第 12 回	Unit 5 音楽について英語で学ぶ (1) Pre-Study, A. 英文読解, B. 語彙習得
第 13 回	Unit 5 音楽について英語で学ぶ (2) C. 英会話
第 14 回	Unit 5 音楽について英語で学ぶ (3) D. 英文読解
第 15 回	まとめと復習
第 16 回	筆記試験

授業内容、進度については、担当教員によって若干変更されることがある。

到達目標

人間文化学科のどの領域においても必要となる英語の総合的な基礎的学力を身につけることができる。

履修上の注意

授業には必ず英和辞典（電子辞書も可）を持参し、授業に積極的に参加すること。遅刻は受講態度においてマイナスとなる。

予習・復習

次の回に学ぶテキストの箇所を読んで、知らない語彙、表現を必ず辞書で調べておくこと。

語学力の養成には繰り返しが必要である。授業後には、授業中にとったノートとテキストを繰り返し書き、読み、繰り返し音声を聴き、発音して復習すること（音声データは出版社のサイトからダウンロードできる）。

評価方法

予習・復習の有無、随時行う小テスト、課題の提出などを受講態度として点数化し、筆記による定期試験の結果と合わせて評価する。評価方法は担当教員によって若干変更されることがある。

定期試験 60% 受講態度 40%

テキスト

- ・教科書名：『Knowledge Expander—English for Liberal Arts—英語で学ぶリベラル・アーツ』
- ・著者名：上村淳子、アイリーン岩崎
- ・出版社名：朝日出版社
- ・出版年 (ISBN)：2015 年 (978-4-255-15562-3)

授業概要

キャンパスライフで使う英語の語彙と表現を学習することによって、英語力の向上を目指す。自己紹介、クラブ活動、専攻、休日など、学生の日常生活を舞台にした会話、文章の読解、その理解を促す文法を学ぶことによって、英語の総合的な基礎運用能力を高められるよう講義する。

授業計画

第1回	オリエンテーション
第2回	Unit 1 スモールトーク：WARM-UP, LET' S CHECK AND READ ALOUD など
第3回	Unit 1 スモールトーク：GRAMMAR
第4回	Unit 1 スモールトーク：LET' S READ!
第5回	Unit 2 クラブ活動：WARM-UP, LET' S LISTEN!, LET' S CHECK AND READ ALOUD!
第6回	Unit 2 クラブ活動：GRAMMAR
第7回	Unit 2 クラブ活動：LET' S READ!
第8回	まとめと復習
第9回	Unit 3 専攻：WARM-UP, LET' S LISTEN!, LET' S CHECK AND READ ALOUD!
第10回	Unit 3 専攻：GRAMMAR
第11回	Unit 3 専攻：LET' S READ!
第12回	Unit 4 日本事情・休日：WARM-UP, LET' S CHECK AND READ ALOUD!など
第13回	Unit 4 日本事情・休日：GRAMMAR
第14回	Unit 4 日本事情・休日：LET' S READ!
第15回	まとめと復習
第16回	筆記試験

授業内容、進度については、担当教員によって若干変更されることがある。

到達目標

キャンパスライフで使う英語を学習することによって、英語の総合的な基礎学力を身につけることができる。

履修上の注意

授業には必ず英和辞典（電子辞書も可）を持参し、授業に積極的に参加すること。遅刻は受講態度においてマイナスとなる。

予習・復習

次の回に学ぶテキストの箇所を読んで、知らない語彙、表現を必ず辞書で調べておくこと。語学力の養成には繰り返しが必要である。授業後には、授業中にとったノートとテキストを繰り返し書き、読み、繰り返し音声を聴き、発音して復習すること（音声データは出版社のサイトからダウンロードできる）。

評価方法

予習・復習の有無、随時行う小テスト、課題の提出などを受講態度として点数化し、筆記による定期試験の結果と合わせて評価する。評価方法は担当教員によって若干変更されることがある。

定期試験 60% 受講態度 40%

テキスト

- ・教科書名：『Let' s Read Aloud & Learn English: On Campus 音読で学ぶ基礎英語（キャンパス編）』
- ・著者名：角山照彦、Simon Capper
- ・出版社名：成美堂
- ・出版年（ISBN）：2019年（978-4-7919-7182-4）

授業概要

4 技能をバランスよく学習し、個人、ペア、グループ活動を通して英語の実用的なコミュニケーション能力の増強を目指して指導する。日常生活での英会話、アカデミックライティング、プレゼンテーション、スピーチの方法を習得また、将来、教育現場で使える英語表現を学び、子ども対象のアクティビティ等も取り入れる。

授業計画

第1回	オリエンテーション
第2回	アイスブレイキング
第3回	Unit 1: 自分について話す
第4回	Unit 1: 基本的な挨拶
第5回	Unit 1: まとめ、小テスト
第6回	Unit 2: 職業について話す
第7回	Unit 2: 職業について話す
第8回	Unit 2: まとめ、小テスト
第9回	Unit 3: ショッピング
第10回	Unit 3: 好みについて話す
第11回	Unit 3: まとめ、小テスト
第12回	Unit 4: 娯楽について話す
第13回	Unit 4: 娯楽について話す&スピーチ
第14回	Unit 4: まとめ&小テスト
第15回	プレゼンテーション
第16回	期末筆記試験

到達目標

世界で活躍するための英語表現を身につけ、自分の考えや意見を英語で発信し、英語でコミュニケーションをとることができる。

履修上の注意

Unit 毎に小テスト実施。テキストは毎回必須。書き込みのないものを準備する。Level1 での代替可。(英語 II でも同じテキスト使用)

予習・復習

テキストの新出単語を予習すること。

評価方法

小テスト 15%、授業態度 15%、課題 10%、プレゼンテーション 10%、期末試験 50%

テキスト

- ・教科書名：Interchange Level 1A Fifth Edition
- ・著者名：Jack C. Richards
- ・出版社名：Cambridge University Press
- ・出版年 (ISBN)：2017年 (ISBN: 9781009040648)

授業概要

ビジネスに必要な英語の語彙と表現を学ぶことによって、英語力の向上を目指す。社内でのコミュニケーション、海外出張、出張報告など、ビジネスマンの日常生活を舞台にした会話、文章の読解、その理解を促す文法を学ぶことによって、英語の総合的な運用能力を高められるよう講義する。

授業計画

第1回	オリエンテーション
第2回	Unit 1 スモールトーク：WARM-UP, LET' S LISTEN!, LET' S CHECK & READ ALOUD!
第3回	Unit 1 スモールトーク：GRAMMAR
第4回	Unit 1 スモールトーク：LET' S READ!
第5回	Unit 2 海外出張1：WARM-UP, LET' S LISTEN!, LET' S CHECK & READ ALOUD!
第6回	Unit 2 海外出張1：GRAMMAR
第7回	Unit 2 海外出張1：LET' S READ!
第8回	まとめと復習
第9回	Unit 3 海外出張2：WARM-UP, LET' S LISTEN!, LET' S CHECK & READ ALOUD!
第10回	Unit 3 海外出張2：GRAMMAR
第11回	Unit 3 海外出張2：LET' S READ!
第12回	Unit 4 出張報告：WARM-UP, LET' S LISTEN!, LET' S CHECK & READ ALOUD!
第13回	Unit 4 出張報告：GRAMMAR
第14回	Unit 4 出張報告：LET' S READ!
第15回	まとめと復習
第16回	筆記試験

授業内容、進度については、担当教員によって若干変更されることがある。

到達目標

ビジネスのさまざまな場面で用いられる英語の語彙と表現を習得することによって、英語の総合的な基礎学力を身につけることができる。

履修上の注意

授業には必ず英和辞典(電子辞書も可)を持参し、授業に積極的に参加すること。遅刻は受講態度においてマイナスとなる。

予習・復習

次の回に学ぶテキストの箇所を読んで、知らない語彙、表現を必ず辞書で調べておくこと。語学力の養成には繰り返しが必要である。授業後には、授業中にとったノートとテキストを繰り返し書き、読み、繰り返し発音して復習すること(音声データは出版社のサイトからダウンロードできる)。

評価方法

予習・復習の有無、随時行う小テスト、課題の提出などを受講態度として点数化し、筆記による定期試験の結果と合わせて評価する。評価方法は、担当教員によって若干変更されることがある。

定期試験 60% 受講態度 40%

テキスト

- ・教科書名：『Let' s Read Aloud More! 音読で極める基礎英語』
- ・著者名：角山 照彦、Simon Capper
- ・出版社名：成美堂
- ・出版年 (ISBN)：2015年 (978-4-7919-4786-7)